

熊本保健科学大学リハビリテーション学科同窓会誌



Hanamizuki

ハナミズキ

Vol.3

Dec. 2016



同窓会会長挨拶

リハビリテーション学科

同窓会会長 伊賀 雅

皆様、こんにちは。リハビリテーション学科同窓会会長を仰せつかりました。言語聴覚専攻1期生の伊賀と申します。同窓会の発展のため役員一同努力して参ります。皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年、「熊本地震」の影響も懸念されましたが、無事に第3回目の同窓会誌「ハナミズキ」を発行することができました。今回の「ハナミズキ」では、通常の活動報告に加え、熊本地震におけるボランティア活動への参加報告など、熊本県内・県外で働いている同窓生の活動についても記載しております。

昨年度は、看護学科、医学検査学科、助産別科、リハビリテーション学科合同の同窓会「熊本保健科学大学 同窓会連合会」を開催しました。同窓会連合会の式典後には、ご多忙の中、同窓会会員の皆様にご参加いただき、無事に第3回リハビリテーション学科同窓会を開催することができました。ご参加いただきました皆様、本当にありがとうございました。

最後になりましたが、熊本保健科学大学卒業生として一緒に大学や同窓会を盛り上げていきましょう。今年度も変わらぬご支援のほどお願い申し上げます。

教員挨拶

学校法人銀杏学園

理事長 米満 弘之

平成28年度リハビリテーション学科同窓会誌の発行を心よりお慶び申し上げます。私がリハビリテーションという言葉に出会ったのは、昭和38年、熊本大学医学部の整形外科卒業試験で、当時の整形外科学教授玉井達二先生が口頭試問として「米満君、君はリハビリテーションという言葉を知っているかね」と訊ねられたことから始まります。

リハビリテーションが医学・医療の分野の学問又は病気の診療を担う分野として日本において取り入れられたのは、昭和40年（1965年）代であり、理学療法士、作業療法士と資格制度が制定され教育養成が始まったのもまさに昭和40年代であります。リハビリテーションは宗教上の破門から破門を解かれ人間回復されたこと、犯罪から罪を免れた人間回復されたりする時代から500〜600年経っています。

現在のリハビリテーションはまさにヒューマンケア時代の中心的役割を果たしています。将来の日本社会を支えるものは、地域リハビリテーションの時代、そしてソーシャルインクルージョンの時代への拡がりを持っています。特にリハビリテーションの専門職としての理学療法士、作業療法士、言語聴覚士へ限りなく皆さんには大きな期待がかかっております。

ご挨拶

熊本保健科学大学

学長 崎元 達郎

リハビリテーション学科同窓会の皆様  
こんにちは！

貴同窓会は、昨年度（平成28年3月）末時点で、理学療法専攻と生活機能療法専攻（旧作業療法専攻）の6期生に、言語聴覚専攻の2期生を加えて、約600人の所帯になられたと思います。3学科の中では、一番若い学科ですから、同窓会としてのまとまりが最も重要な時期だと思います。大学としては、卒業生をいつまでも大事に考え、実のある交流を続けたい、また、その核となる同窓会の活動をできる限り支援していきたいと考えています。ちなみに、医療福祉の世界では、団塊の世代が後期高齢者になる「2025年問題」というのがありますが、大学では、10年後も、20年後も選ばれ続ける大学であるためには、どのような人材を育成すべきかということテーマに教育改革に着手しています。卒業生、同窓会の皆様にも、どうあるべきかのご意見をお寄せいただければありがたいと考えています。

最後になりますが、同窓会を運営していただいている役員の皆様に感謝申し上げますとともに、同窓会とそれを構成する卒業生一人一人のご活躍とご成功を祈念しています。

挨拶

リハビリテーション学科

学科長 長倉 裕二

この度の熊本地震で被災された卒業生の方々に謹んでお見舞い申し上げます。今年3月卒業され、熊本市内に就職されたみなさまは新任職員として新たな気持ちで研修や臨床に勤しんでいらっしゃると思います。本学でも今年度、入学式を終え、新入生オリエンテーションも済み、第1回目の授業が始まる最中、被災しました。地震がない県として全国PRしていた熊本県ではありましたが、初めての地震で不安を感じている方も多いと思います。しかしこれはみなさんだけではなく、担当される被災さ

れた患者様とその家族、地域の方々も不安を抱えてらっしゃると思います。これを支えていく皆様は震災復興の中、派生してくる問題に対応していくことになると思います。私自身も阪神淡路大震災の被災者で病院復興まで半年、交通機関が完全復興するまで数年、震災による身障者と家族に向き合ってきました。これによって医療に対する考え方は大きく変わっていったと思います。多分、皆さんもリハビリテーションの在り方、地域の中での生活の在り方など多くのことを震災から学ぶことになると思います。災害復興リハビリテーションも立ち上がり、これに携わる卒業生の方々もたくさんいらつしやると思います。これからも皆さんのご活躍に期待いたします。

同窓会に参加して同志と

飲ミニユニケーションを持つ

理学療法専攻

専攻長 土井 篤

今年度は熊本地震、豪雨そして灼熱の夏と大変な状況なのですが、皆さんお変わりありませんか？ リオデジャネイロオリンピック2016も盛会のうちに閉会を迎えました。私が個人的に大変驚いたのは何と言っても男子400メートルリレーです。ジャマイカやUSA選手と日本人選手の能力の差を比べてみてください。あの個人個人の能力の差を完全に補完するようなあの成績。あのような驚くべき成績を取ることができたのは、勿論個人個人の能力が向上したこととさることながら、それ以上にお互いの連携と日頃からの壁のないコミュニケーションの結果に違いありません。同窓会「ハナミズキ」は同じ医療現場で働く同志としてのコミュニケーションの場です。そのような意味で重い足を引きずってでも再優先として、同窓会に参加する。そして話したことの無い先輩や他学科の後輩とコミュニケーションとノミニユニケーション

（飲ミニユニケーション）を取る。そうしたことがきっかけになって何かのヒントを得ることもあるでしょう。同窓生の皆さん、是非同窓会を利用し、同志と交流を取ることで自己啓発に努め、貴方たちが目指す領域や夢への金メダルを取っていただきたいと自らの反省も含めて書かせていただきました。頑張れニッポン！頑張れクマモト！そして頑張れ熊本大ハナミズキ！

優しく勇気ある若者達の伝統

生活機能療法専攻

専攻長 安田 大典

4月14日に前震が発生してから大きな地震が何度も続き、今も心休まらぬ日々が続いています。自宅や職場が大きな被害を受けられた方もいらつしやると思います。心よりお見舞い申し上げます。

当時、大学も多くの傷を負いました。特にM7・3の本震後のサーバードウンが大きな被害の一つで、学生達との連絡が一切出来なくなりました。しかし、学生達が緊急LINEグループを作ってくれたお陰ですぐに全員の無事が確認でき、その後もあらゆる連絡が可能となりました。混乱中の作業でしたので当時のことをあまり思い出せませんが、学生達が行ってくれたことは決して忘れられません。学生達は大変な生活の中、自主的に炊き出しなどのボランティア活動を行い、病院の復旧作業の手伝いも行ってくれました。大学の復旧作業にも来てくれました。やと県外の実家に戻れた学生達は熊本のために街頭募金も行ってくれました。

卒業生皆さんが築いてくれた思慮・仁愛の精神は脈々と後輩に引き継がれ、優しく勇気ある若者達が集う大学になりました。本当に感謝しています。また、すぐにすばらしい後輩たちが皆さんのもとへ行きます。ご指導の程よろしくお願致します。

言語聴覚専攻

専攻長 塩見 将志

このたびの地震により、被災された皆さまには心よりお見舞い申し上げます。さて、言語聴覚専攻では、平成27年3月に1期生、そして28年3月には2期生が卒業しました。

卒業生の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

1期生は、先輩に指導を行う事や相談の機会も多いのではないのでしょうか。そして、先輩としてのプレッシャーに押しつぶされそうな時もあるかと思っています。

また2期生は、卒業後には言語聴覚士としてのみならず社会人としても多くのことを求められ、戸惑うこともあったのではないのでしょうか。

様々な困難に直面した時に頼りになるのが、同じ大学で学んだ先輩や同期の仲間だと思います。

ぜひ、同窓会活動を通して、先輩、後輩および同輩を大切にしてほしいと思っています。

言語聴覚士として仕事をすると、今までは異なる多くの悩みも持つことになると思います。しかしながら、悩みながらも前向きに過ごして下さい。そして、なによりも「幸せなST」でいて欲しいと願っています。さらに言えば、みなさんが幸せと感じるのであれば、STでなくてもいいと思います。

余裕がなく過ごしている自分自身を顧みながら、もし可能であれば、卒業式後の飲み会のような時間を皆さんと過ごしたいと思っています。

私はとても楽しかったです。みなさんは、どうでしたか。





石井 苗子先生

去る平成28年2月28日(土)、本大学同窓会連合会の記念すべき第1回目の合同イベントがくまもと森都心プラザ及びANAグラウンプラザホテルニュースカイにて開催されました。講演会では、講師に石井苗子先生をお招きして「医療現場におけるコミュニケーション」について御講演頂きました。石井先生は、ヘルスケアカウンセラーとして東京都内の病院の心療内科にて研修を続けられており、今後の臨床現場で生かせる内容が多く、大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。

また、懇親会におきましては、同窓会連合会の合同イベントの名称を皆さんの投票にて「銀杏会(いちじょうかい)」と決定しました。その他、沢山の景品を用意したビンゴゲームなどで大いに盛り上がりました。大学時代とはまた一味違い、医療職としての悩みを先輩後輩の垣根を超えて話し合うことができたのではないのでしょうか。

これを機に4学科同窓会がさらに協力を連携を密にして、卒業生約8,000名の熊本保健科学大学同窓会連合「銀杏会」が全国に活動の幅を広げ、本学及び社会へ貢献していかなければならぬと切に感じる合同イベントとなりました。

平成28年

熊本保健科学大学  
同窓会連合会の様子

## 平成28年度 総会・講演会の案内

**日時** 平成29年2月25日(土) 13:00開始予定

**場所** 総会・講演会ともに熊本保健科学大学

**講演会の講師**：諏訪 茂樹 先生 **参加費**：500円

※講演会の内容やスケジュールの詳細は後日連絡致します。

**講師 Profile**  
**プロフィール**  
(2016年4月現在)

- 【氏名】** 諏訪 茂樹 (すわ しげき)
- 【現職】** 東京女子医科大学看護学部 人文社会科学系准教授  
東京女子医科大学大学院 看護学研究科准教授
- 【略歴】** 1987年 法政大学大学院社会科学研究科修士課程修了  
1990年 日本大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得  
1999年 日本保健医療行動科学会 中川賞受賞  
2013年 日本保健医療行動科学会第28回大会大会長
- 【主な著書】** 『集団心理ゲーム入門』 TBSブリタニカ  
『介護専門職のための声かけ・応答ハンドブック』 中央法規出版  
『続 介護専門職のための声かけ・応答ハンドブック』 中央法規出版  
『援助者のためのコミュニケーションと人間関係 第2版』 建帛社  
『利用者・家族とのコミュニケーション』 中央法規出版  
『コミュニケーション・スキルを磨こうー医療・福祉サービス利用者とのよりよい関係を目指して』 (ビデオ) 中央法規出版  
『対人援助のためのコーチングー利用者の自己決定とやる気をサポート』 中央法規出版  
『人間関係とコミュニケーションー体験学習型ワークブック』 建帛社その他  
『対人援助とコミュニケーションー主体的に学び、感性を磨く 第2版』 中央法規出版  
『看護にいかすリーダーシップ 第2版ーティーチングとコーチング、状況対応の体験学習』 医学書院  
『コミュニケーション・トレーニング 改訂新版ー人と組織を育てる』 経団連出版部
- 【専門】** コミュニケーション論、人間関係論、集団・組織論
- 【研修等】** 日本能率協会、日本経営協会、国際協力機構、日本看護協会、都道府県看護協会、都県社会福祉協議会、その他



## 熊本保健科学大学リハビリテーション学科同窓会会則

平成28年2月27日制定

### 第1章 総 則

- 第1条 この会は、熊本保健科学大学リハビリテーション学科同窓会という。
- 第2条 この会は、本部を熊本保健科学大学リハビリテーション学科内（熊本市北区和泉町325番地）におく。
- 第3条 この会は、会員相互の親睦を図ると共に、学術技能の向上に努め、母校の名聲を宣揚し、その発展に寄与することを目的とする。
- 第4条 この会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
- 1 各専攻間の連携・親睦を深めること。
  - 2 同窓会誌及び同窓会会員名簿発行に関すること。
  - 3 学術研修会及び研究発表会に関すること。
  - 4 その他この会の目的を達成するため必要な事業。

### 第2章 会 員

- 第1条 この会の会員は、次のとおりとする。
- 正 会 員 熊本保健科学大学リハビリテーション学科を卒業したものの。  
特別会員 熊本保健科学大学職員で、会長の推薦したもの。  
準 会 員 熊本保健科学大学学生
- 第2条 この会の会員（特別会員を除く）になろうとする者は、総会に於て定められた会費を納入しなければならない。
- 第3条 会員は、氏名、住所、勤務先等に変更が生じた場合は、その都度指定した連絡先に通知するものとする。

### 第3章 役 員

- 第1条 この会に、次の役員をおく。
- 会 長 1名  
副 会 長 各専攻から1名  
評 議 員 各専攻から2名  
会 計 各専攻から1名  
監 事 2名  
常任委員 各専攻・各期から2名
- 第2条 役員の選出方法は次のとおりとする。
- 1 会長及び副会長は、正会員の中より評議員会において選出する。
  - 2 評議員及び会計・監事は、常任委員会において常任委員の中から選出する。
  - 3 常任委員は、総会において会員の中から選出する。
- 第3条 役員の職責は、次のとおりとする。
- 1 会長は、この会を代表し、会務を統轄する。
  - 2 副会長は、会長を補佐し、会長に支障ある時はこれを代行する。
  - 3 評議員会は、会長の諮問する重要事項を審議する。
  - 4 監事は、この会の経理を監査し、評議員会に報告する。
- 第4条 役員の任期は、次のとおりとする。
- 1 会長は、任期を2年とする。
  - 2 副会長及び会計・監事・評議員は、任期を3年とする。
  - 3 常任委員は、任期を任意とする。
- 第5条 この会は、本部に事務局と学術局を設ける。
- 第6条 事務局は、常任委員より選出し、庶務部、企画部の係をおく。
- 1 庶務は、会員の異動調査及び会員名簿の出版等庶務一般の管理を担当する。
  - 2 企画は、総会・同窓会誌・講演会・懇親会の企画及び業務を担当する。
- 第7条 学術局は、常任委員より選出し、学術研修部、研究発表部の係をおく。
- 1 学術研修部は、研修会の企画・運営を担当する。
  - 2 研究発表部は、研究発表会の企画・運営を担当する。

### 第4章 会 議

- 第1条 会議は、総会及び評議員会とする。
- 第2条 総会は、次のとおりとする。
- 1 毎年本校において開催する。但し都合によって開催地を変更することができる。
  - 2 次年度の事業・予算決定、前年度の事業・決算報告の承認、その他会長が付議した重要な事項を議決する。
- 第3条 評議員会は、次のとおりとする。
- 1 会長が必要に応じてこれを召集する。
  - 2 総会に付議すべき事項、事業の執行に関する事項、その他会長が付議した事項について議決するものとする。

### 第5章 会 計

- 第1条 この会の経費は、会費、寄付金、賦課金及びその他の収入とする。
- 第2条 予算及び決算については、次のとおりとする。
- 1 この会の予算及び決算は、総会においてその承認を得なければならない。
  - 2 決算書には、すべての財源及び使途ならびに現在の経理状況を明らかにし、会計監査を受け、その意見書を添付しなければならない。

- 第3条 この会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
- 第4条 この会の会計経理は、この会則に定めるもののほか、会計規則で定める。

### 第6章 会則の変更

- 第1条 この会の会則の改正は、総会において承認をうけなければならない。

#### 付 則

- 1 この会則は、平成25年8月3日から施行する。
- 1 この会則は、一部改訂し、平成28年4月1日から施行する。

#### 細 則

- (会費・入会金・納入時期)
- 第1条 第2章第2条による会費は、永年会費5000円、入会金5000円とする。
- 2 会費は、熊本保健科学大学リハビリテーション学科入学時に納入するものとする。
  - 3 準会員で退学したものは申し出により会費を返金するものとする。

## 会 計 規 則

平成28年2月27日制定

- 第1条 この規則は、会則第5章に基づき、会計に関する必要な事項を定める。
- 第2条 会計は、経費及び物品の出納事務を取り扱い、会計担当常任委員がこれを行う。
- 第3条 出納の事務は、すべて文書により処理し、会長の決済を経なければならない。但し、請求書または領収書徴収不能の場合は、会長または会計担当常任委員以外の常任委員1名以上の認定を以て、これに変えることができる。
- 第4条 会計または支出に対し、不当と認められた時は、評議員会にはかるものとする。
- 第5条 予算外の支出または予算超過の支出に当たって、予備費を設けることができる。
- 第6条 出納の経理を明らかにするため、下記の帳簿を備え証書類と共に保管しなければならない。
- (1) 金銭出納簿 (2) 会費納入者名簿 (3) その他の補助簿
- 第7条 会務のために出張する者または会務に従事する者に対しては、最低限必要と思われる旅費及び行動費を支給することができる。
- 第8条 会計は、年度毎に収入支出決算書を作成し、会計検査を受け、その意見書を付して、総会に提出しなければならない。
- 第9条 会計は、総会までに収入予算案を編成し、評議員会の議を経て総会に提出しなければならない。
- 第10条 会計は、必要に応じ評議員会の議を経て、一会計年度中の一定期間内にかかる暫定予算を作成し、これを執行することができる。この場合、暫定予算は当該会計年度の予算が成立したとき、その効力を失う。
- 第11条 会計は、必要と認める時は会長の承認を経て、資金前渡を行うことができる。この場合、事務終了後直ちに精算しなければならない。
- 第12条 この規則の改正は、評議員会の承認を得なければならない。

- 1 この規則は、平成28年4月1日より施行する。

## 旅費及び行動費支給規定

平成28年2月27日制定

- 第1条 この規定は、会計細規則第7条の規定により旅費及び行動費支給に関する必要な事項を定める。
- 第2条 この会の会員及びその他の者で、会長の命令又は要請により会務のため出張する者又は会務に従事する者にはこの規定により旅費及び行動費を支給する。
- 第3条 前条の旅費とは、交通費の実費及び会長が必要と認めた場合の宿泊料とする。
- 第4条 行動費は日数に応じ、宿泊料は夜数に応じて支給する。
- 第5条 交通費は、等級の区分がある場合は最下級のものとし、必要がある場合は急行及び寝台の料金を加算することができる。
- 第6条 交通費実費の計算は目的地までの最短経路によって行う。但し、天災その他やむをえない事由により経路を変更した場合はその現に経過した経路による。
- 第7条 宿泊料は実費を支給する。行動費は日額1000円とする。
- 第8条 会長は時宜により旅費及び行動費の一部もしくは全部を支給しないことができる。
- 第9条 この規定の改正は評議員会の承認を得なければならない。

- 1 この規定は平成28年4月1日より施行する。

## 平成27年度 事業報告

### I. 運営に関する事項

1. 常任委員総会  
平成28年2月27日（土） 森都心プラザ
2. 役員会  
20回開催

### II. 教育に関する事項

- 平成27年度第1回熊本保健科学大学同窓会連合会  
研修会  
平成28年2月27日（土） 森都心プラザ  
会員の教育研修参加 0件  
支部活動 0件

### III. 調査研究に関する事項

- 会員の活動状況の把握  
会員の住所録調査とデータ管理を行う

### IV. 福祉に関する事項

- 卒業式に会長が出席

### V. 出版に関する事項

1. 同窓会誌『ハナミズキ』第2号発行
2. 同窓会誌発行と名簿管理を小野高速印刷に委託する

## 平成27年度 収支決算報告書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

### I. 収入の部

(単位：円)

費 目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 会 費 収 入	1,410,000	1,410,000	0	平成27年度入学生 141名
2. 補 助 金 収 入	250,000	250,000	0	学校法人銀杏学園 250,000円
3. 懇 親 会 費	300,000	0	▼300,000	
4. 雑 収 入	1,100	1,399	▲299	銀行利息
5. 前年度繰越金	7,632,065	7,632,065	0	
収 入 合 計	9,593,165	9,293,464	▼299,701	

▲は予算より収入増  
▼は予算より収入減

### II. 支出の部

(単位：円)

費 目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 懇 親 会 費				
1) 講演会・懇親会 開催費	300,000	226,231	▼123,769	同窓会連合会開催費
2) 福 祉 費	50,000	5,400	▼44,600	準会員退職祝い
2. 会 議 費				
1) 役員会会議費	270,000	110,432	▼159,568	
3. 事 務 費				
1) 消耗品費	50,000	2,815	▼47,185	印刷用紙、ラベル、封筒
2) 通信費・印刷費	70,000 30,000	284,161	▲184,161	切手、第2号ハナミズキ発送 印刷、封入
4. 抛 出 費	800,000	800,000	0	同窓会連合会
5. 予 備 費	100,000	0	▼100,000	銀行手数料
支 出 合 計	1,670,000	1,429,039	▼240,961	

▲は予算より支出増  
▼は予算より支出減

## 平成28年度 事業計画

### I. 運営に関する事項

1. 総会を開催する

2月18日

2. 役員会

20回開催

### II. 教育に関する事項

リハビリテーション学科同窓会開催予定

### III. 調査研究に関する事項

会員の活動状況の把握

会員の住所録調査とデータ管理を行う

### IV. 福祉に関する事項

式典（入学式、卒業式）参列ならびに祝電送付

会員、準会員の慶弔禍福

### V. 出版に関する事項

1. 同窓会誌『ハナミズキ』第3号発行

## 平成28年度 収支予算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

### I. 収入の部

(単位：円)

費目	前年度予算額	予算額	差異	備考
1. 会費収入	1,410,000	1,480,000	▲70,000	平成28年度入学生 148名
2. 補助金収入	250,000	250,000	0	学校法人银杏学園 250,000円
3. 懇親会費	300,000	300,000	0	参加費 3,000円×100名
今年度収入合計	1,960,000	2,030,000	▲70,000	
雑収入	1,100	1,399	▲299	銀行利息
前年度繰越金	7,632,065	7,864,425	▲232,360	
収入合計	9,593,165	9,895,824	▲302,659	

▲は前年予算額より収入増

▼は前年予算額より収入減

### II. 支出の部

(単位：円)

費目	前年度予算額	予算額	差異	備考
1. 懇親会費				
1) 講演会・懇親会開催費	300,000	400,000	▲100,000	同窓会開催費 食事、飲み物 4,000円×100名
2) 福祉費	50,000	50,000	0	電報代、大学行事参加経費
2. 会議費				
1) 役員会会議費	270,000	270,000	0	
3. 事務費				
1) 備品費	0	300,000	▲300,000	事務・講演会用ノートパソコン2台
2) 消耗品費	50,000	25,000	▼25,000	事務用品
3) 通信費	70,000	150,000	▲50,000	印刷、第3号ハナミズキ発送
印刷費	30,000			
4. 抛出席費	800,000	450,000	▼450,000	同窓会連合会
5. 予備費	100,000	100,000	0	
支出合計	1,670,000	1,745,000	▲75,000	

▲は前年予算額より支出増

▼は前年予算額より支出減

## 監査報告

 熊本保健科学大学保健科学部リハビリテーション学科  
同窓会会長 伊賀 雅 殿

熊本保健科学大学保健科学部リハビリテーション学科同窓会会則第5章の規定により、平成28年10月23日、熊本保健科学大学スタッフルームにおいて、平成27年度決算について監査を実施しましたところ、一般会計、帳簿類など整備良好で会務とも適切な執行が行われていることを認めます。

平成28年10月23日

監事 浅野 勇太

監事 於保 薫



同窓会役員

紹介

Introduction

- 顧問** 大塚 裕一、鍋木 誠、佐川佳南枝
- 会長** 伊賀 雅
- 副会長** 稲田 幸司、志賀 彰、前田 徹
- 評議員** 浅野 勇太、於保 薫、杉本 多恵、近藤 彩夏、村尾真由子、  
山内ゆかり
- 会計** 上田 麗華
- 常任委員** 有木 千華、池田祐太郎、緒方 陽菜  
兼 陽平、木下 拓郎、五通 朋美  
坂本 勇太、迫田 大志、中馬 恵里  
富永 隼斗、平山 琢登、牟田 孝臣  
森 雄也、米村 友里



J R A Tに参加してみて。

済生会みすみ病院 古田 直路

今年4月に起きた熊本地震後、大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（以下J R A T）に参加し、貴重な経験をさせていただきました。実際の活動では看護師チームや災害派遣医療チーム・J R A Tチーム・保健師チームなど全国から多くのチームが参加していました。被災した方の健康状態や避難所での生活状況の確認、前日までの避難所の環境の変化など同じことを何度も聞くことが無いよう、チーム間や避難所職員の方と情報交換は非常に重要でした。宇城市の避難所を回らせていただいた中で特に印象に残っているのは青少年の家での活動です。段差や階段が多く、スロープもないような環境で車椅子生活の方や目の不自由な方、片麻痺の方など様々な障害を持った方が避難生活を送っていました。ここでは「一人の方が生活しやすいような環境調整」ではなく「多くの方が生活に不便なく、対象の方の日常の負担が軽減できる環境調整」が必要であり、リハ的な環境調整と一人でも多くの人が避難できる場所にするための避難所側の環境調整との考え方の違いがとても難しい課題でしたが、対象者の身体状況をしっかりと把握して避難所職員の方と話し合い、協力を得ながら少しずつ調整を行うことができました。今回J R A Tに参加し、話すことの大切さや他職種の方との協同などさまざまなことを改めて考えさせられました。まだ、熊本は復興の途中で熊本以外の場所でも今回の熊本地震のように多くの人の力が必要になることがあると思います。その時は、今回の経験を生かし率先して行動を起こしていこうと思います。



## 高田政夫先生からの祝辞と謝辞

心あたたまる同窓会による送別会・在校生による最終講義ありがとうございました。

高田は愛知にて家族ともども元気しております。ご安心ください。

一日も早く熊本が復興されることを切に祈っております。  
そして、いつの日か立派に成長した西里桜の母里での再会を楽しみにしております。

### ■ 住所・mail address

〒470-0154 愛知郡東郷町和合ヶ丘1丁目2-13  
masao05@hotmail.co.jp



リハビリテーション学科設立10年初秋（愛知にて）Mario

卒業生の皆さんへ

熊本保健科学大学同窓会連合  
会 長 瀧口 巖

### 熊本地震災害に対する義援金について（お願い）

この度の熊本地震における災害において、多くの方々が被災され、いまだ住む家も無く避難所暮らしをされている人々が多数いらっしゃいます。そういった中で、日本中の皆様からの温かい言葉、励ましの言葉を数多くいただき、被災者の方々はもちろん熊本県民全体が勇気付けられました。

そういう現状の中で、本学においても何か所かの被害があり、相当な費用が必要な状況です。また、学生や教職員においても家屋の損壊などで避難所暮らしを長くされている方がいらっしゃいます。

いずれにしても、テレビなどで報道されている以上に現状はひどい状態で、さらに梅雨前線の影響で大雨が続き、熊本は苦難につぐ苦難に見舞われました。

そこで、各学科同窓会と協議した結果、同窓会連合にて義援金の受付窓口を用意して、皆様からのご支援をいただく運びとなりました。皆様からいただいた義援金は熊本保健科学大学に全額お渡ししたいと思います。つきましては、義援金の振込口座や要領を下記に示します。

（記）

- 1) 振込先：肥後銀行 本店（101）
- 2) 口座番号：2536621
- 3) 振込口座名：熊本保健科学大学同窓会 連合会事務局  
会計 久保田 憲寿 様
- 4) 方法：記入するもの。  
①氏名 ②同窓会名 ③卒業期 ④その他コメント

以上のような内容で卒業生の皆様のご支援をお待ちしております。

医学検査学科同窓会会長 原田 精一  
看護学科同窓会会長 中野 博之  
リハビリテーション学科同窓会会長 伊賀 雅  
助産別科同窓会会長 坂井 愛梨